

ピアサポーター交流会の報告

～ピア活動と地域づくりの連動を目指して～

ピアプロジェクトチーム

浅水委員(家族会)、大高委員(日本医科大学)
多賀谷氏(しいのき会)、成塚委員(薬剤師会)
根本委員(東京カリタスの家)、平井委員(あせび会)
松尾委員(エナジー本舗)、皆巳委員(本郷の森)
予防対策課、障害者基幹相談支援センター

～障害者にもやさしいまちを目指して～ ピアサポートを知ってつながろう

精神障害者にも やさしいまちを目指して

ピアサポートを知って つながろう

11月30日(土) 13:30～15:30

文京シビックセンター26階
スカイホール

発表

- 地域生活支援拠点 (富坂・本富士)
当事者同士が集まったり、合唱や合奏をしたり...どこかに所属していなくても集まれる地域生活支援拠点から活動紹介!
- エナジーハウスメンバー・職員
エナジーハウスのメンバーが病院へ行き、入院患者さんと音楽を通して交流を行っている様子を発表!
- 東京大学ピアサポートワーカー
仕事として、自らの病の経験を含めた多様な経験や、当事者性といった専門性を生かして職務に当たるといふ働き方を紹介!

交流会 途中参加・途中退席OK

対象 ピアサポート活動に興味がある方
(当事者・家族・病院職員等) ※区民に限らずお申込可

定員 80名 (申込順)

申込 QRコードから申込 (または電話で下記へ)
11/25 (月) 〆切

問合せ先 03-5803-1847 (文京区予防対策課精神保健担当)

ピアサポートとは...
対等な関係性における
仲間同士の支えあいのことです

お申込はこちら



日時: 令和6年11月30日(土)
午後1時30分～3時30分

場所: スカイホール

対象: ピアサポート活動に興味がある方
(当事者・家族・病院職員等)

定員: 80名

発表者

●東京大学
ピアサポートワーカー

●エナジーハウス

●富坂生活あんしん拠点
●本富士生活あんしん拠点

第3層

ピアサポートとして収入を得る、生業として働く活動。研修を受講することで、ピア加算の対象者にも。
注)ピアサポートという専門職です。

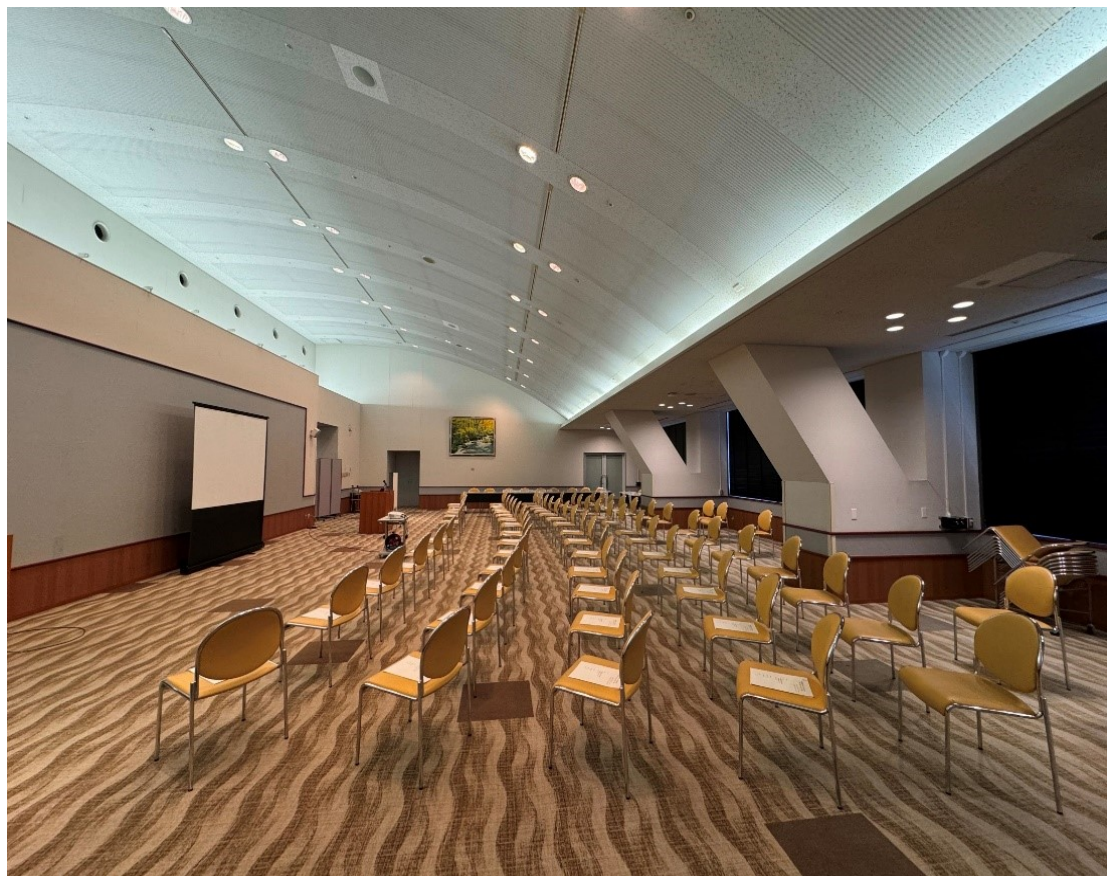
第2層

自分のリカバリーストーリーの語り手として、病やおかれている境遇、おmoiを発信することで、当事者の道しるべになるとともに、情報発信、啓発につながる活動

第1層

同じ病や境遇の人たちと、わかちあう経験。対等な仲間と、かかわり、支えあう経験。自分が病気になって辛かった時に、どんな支えがあったか、仲間を支えたか。その体験がピア活動の原点

会場の様子



タイムスケジュール

13:30 開会

13:35 発表

富坂生活あんしん拠点

本富士生活あんしん拠点

東大ピアサポートワーカー

エネルギーハウス

14:50 お知らせ(家族会当事者会の紹介)

15:00 休憩

15:10 交流タイム(質疑応答)

15:35 閉会

発表の内容

富坂生活あんしん拠点

職員1名登壇
拠点の役割
(相談支援・地域の体制づくり)
おしゃべりサロン・合唱合奏活動

本富士生活あんしん拠点

職員1名・参加者1名登壇
なでしこサロンの紹介
参加者へのインタビュー

東大ピアサポートワーカー

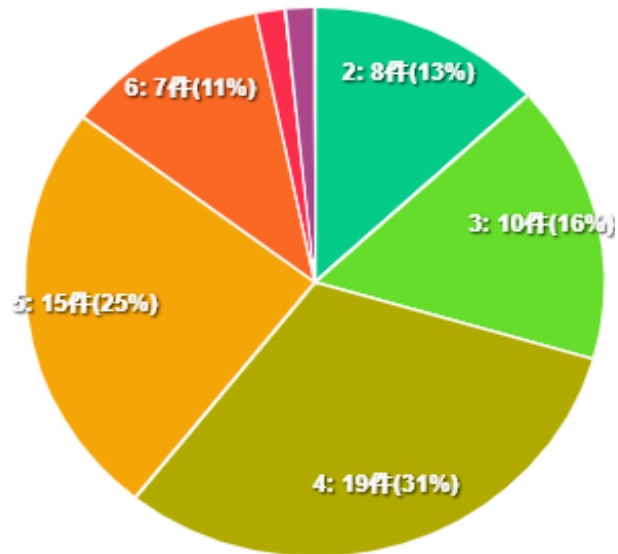
1名登壇
ピアサポートとは何か
ピアスタッフの活動紹介
ピアサポートを文化に

エナジーハウス

職員2名・メンバー5名登壇
エナジーハウスの紹介
音楽交流会の始まりと変遷
音楽交流会の実際と参加者の声

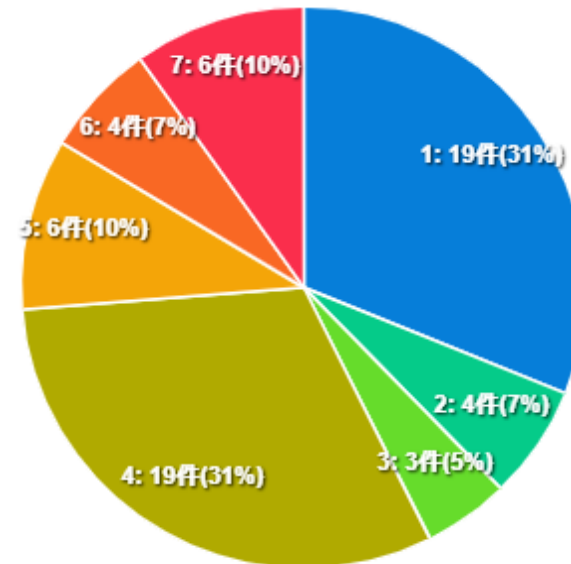
申込者(61名)の内訳

年代



- 1. 20歳未満
- 2. 20歳以上30歳未満
- 3. 30歳以上40歳未満
- 4. 40歳以上50歳未満
- 5. 50歳以上60歳未満
- 6. 60歳以上70歳未満
- 7. 70歳以上80歳未満
- 8. 80歳以上

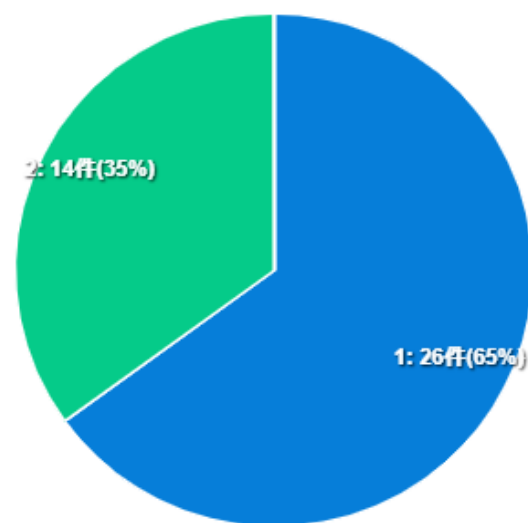
属性



- 1. 当事者
- 2. 当事者家族
- 3. ピアサポートワーカー
- 4. 事業所職員
- 5. 病院職員
- 6. 行政職員
- 7. その他

アンケート結果1 参加者60名中、40名が回答

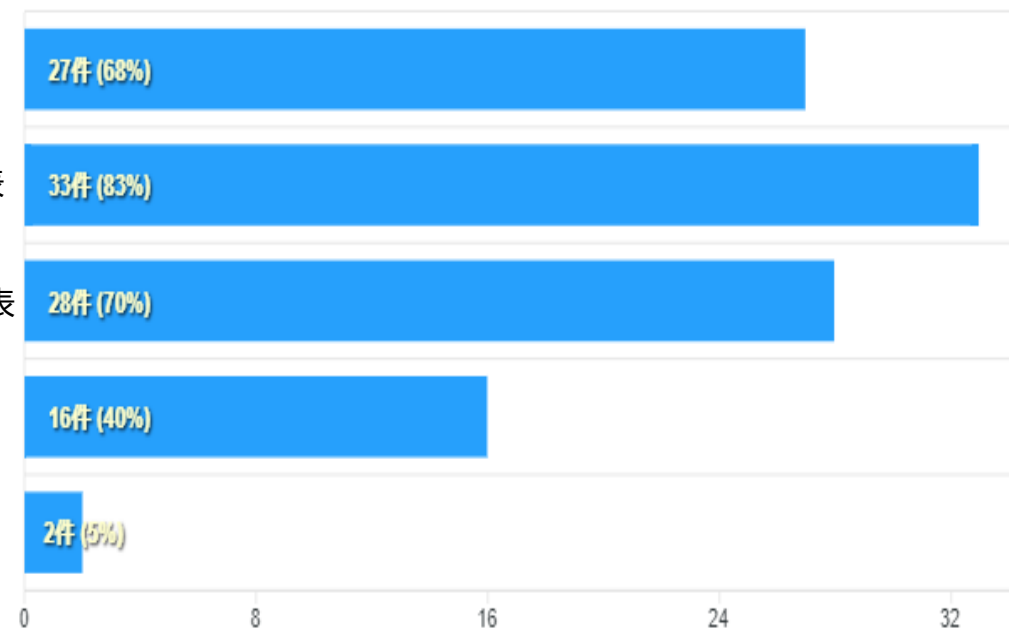
問1. イベントの内容はいかがでしたか。



- 1. 非常によかった
- 2. よかった
- 3. どちらとも言えない
- 4. 期待していた内容ではなかった

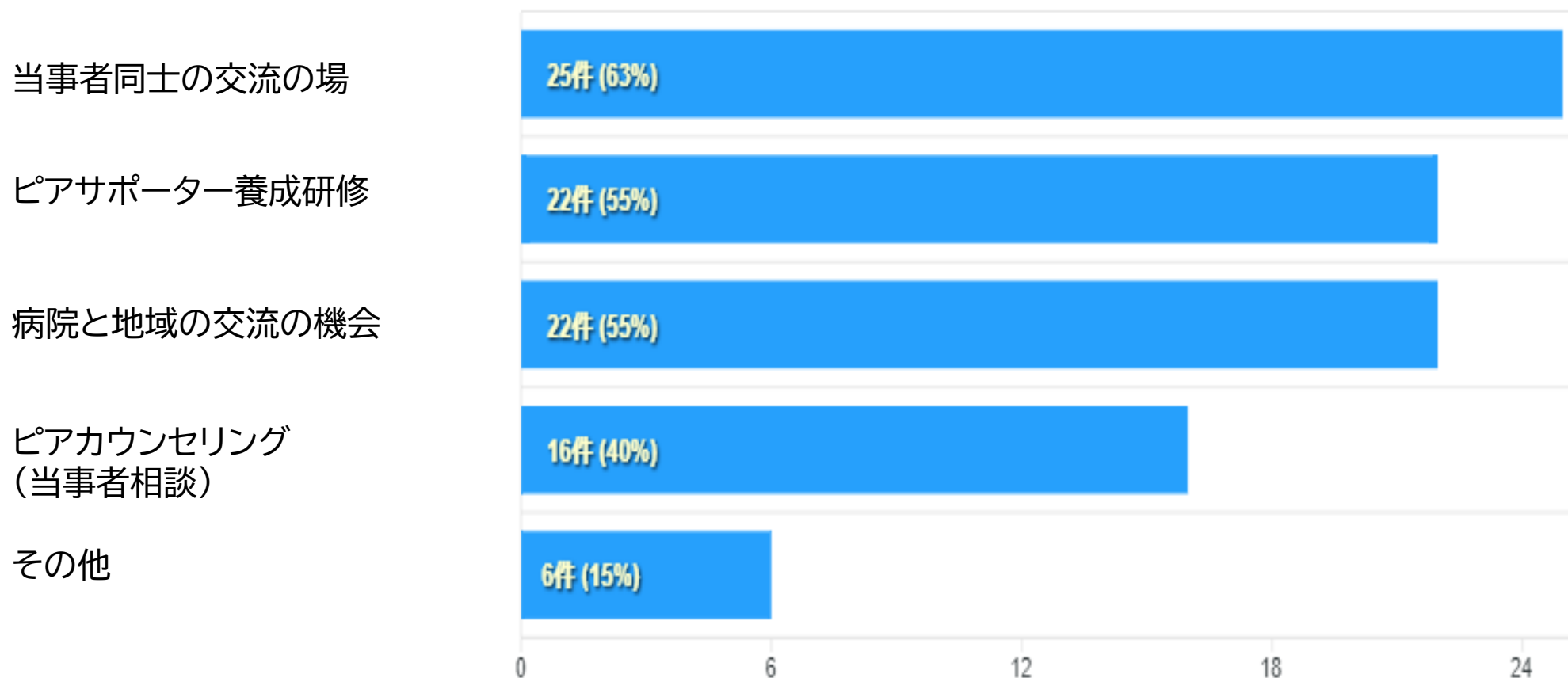
問2. 興味を持った内容を教えてください。(複数選択可)

地域生活あんしん拠点サロンの発表
東大DHピアサポートワーカーの発表
エナジーハウス出張ピアサポートの発表
交流タイム・質疑応答
その他



アンケート結果2 参加者60名中、40名が回答

問3. 文京区であつたらいいと思うピアサポートに関わる活動を教えてください。(複数選択可)



アンケート結果3 参加者60名中、40名が回答

- 何となくのイメージしかなかったピア活動でしたが、講演会に参加して具体的なイメージを持つことができました。そして、活動の奥深さを感じました。
- 今日発表された皆様の様子を聞き、モチベーションが上がりました。皆様の取り組みを院内でも周知したいと思います。それぞれの立場で取り組みを進めつつ、広く連携していきましょう！
- とても楽しく参加させていただきました。他にも色々な活動されている方がいらっしゃると思うので、ピアさんたちの文化祭みたいなイメージで交流のイベントが出来たら面白そうだなと思いました。

発表者との振り返り

- このような場が必要であり、発表できてよかった。
- 質問を聞き、当事者の熱量があることを感じた。
- それぞれの活動の発表に刺激をもらった。
- 病院での交流会やこのような発表をすることで、
病気が一段階よくなっていると感じる。
- 発表は緊張するが、お互いの活動を知ることによって相乗効果もある。